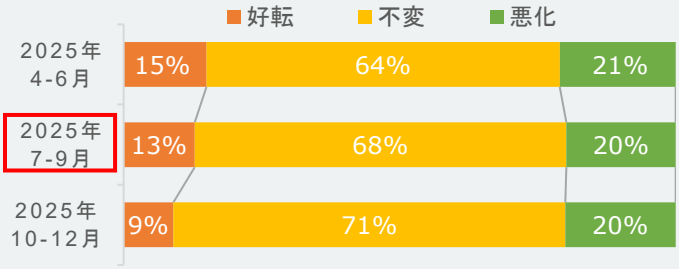
川崎商工会議所 中小企業景況調査 2025年7～9月期 調査結果

●調査対象 川崎商工会議所会員 80事業所 ●調査時期 2025年8月19日～9月7日

1 業況について

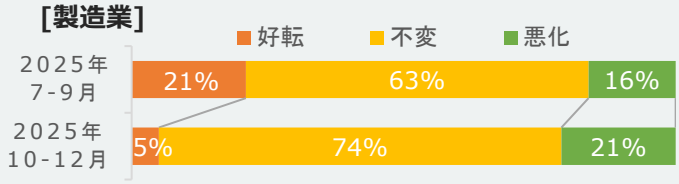
◆今期（7～9月）は「不変」が増加し、「好転」と「悪化」はやや減少した。
「好転」は製造業で２割あったが、他業種では１割程度にとどまった。
「悪化」は各業種で１～２割の中、卸売業で３割となった。
全体としては「不変」が多数を占めており、様々な課題がある中で各社が業況を維持していると推認される。

◆来期（10～12月）については、「好転」は各業種横ばいの中、製造業が大きく減らしている。「悪化」は製造業・建設業で増加、卸売業・サービス業で減少と業種によって差が見られる。
全体として、「不変」が今期同様最多を占めていることから、来期も引き続き、慎重な見方をしている事業所が多い。

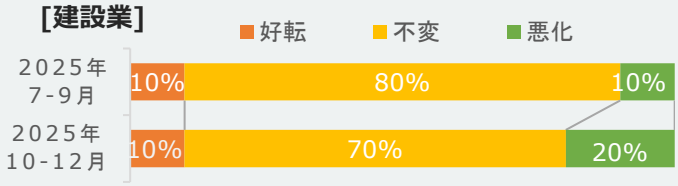


■業種別

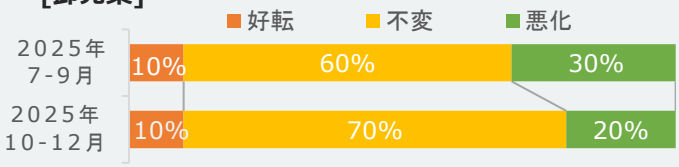
[製造業]



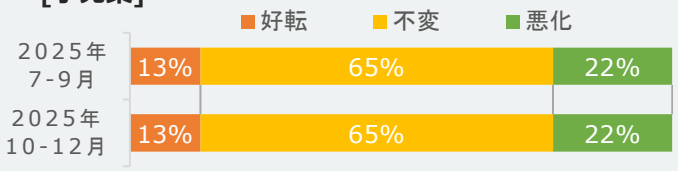
[建設業]



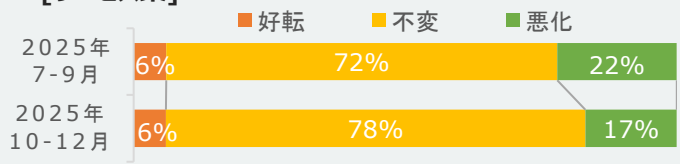
[卸売業]



[小売業]



[サービス業]



2 設備投資について

[今期（2025年7月～9月）]

実施した：11.3% 実施していない：88.7%

＜実施内容＞

[来期（2025年10月～12月）]

計画している：3.8% 計画していない：96.2%

＜計画内容＞

3 経営上の問題点 [複数回答]

◆全ての業種で「仕入単価（原材料価格）の上昇」が上位に挙げられている。特にサービス業においては６割弱が問題と回答している。

◆「人件費の増加」や「従業員（熟練技能者）の確保難」も上位に見られる。特に建設業では様々な問題が挙げられており、経営の舵取りの難しさが窺われる。

[製造業]

1位	原材料価格の上昇/需要の停滞	37%
2位	熟練技能者の確保難	26%
3位	人件費の増加/製品（加工）単価の低下・上昇難	21%

[建設業]

1位	従業員の確保難	36%
2位	材料価格の上昇/人件費の増加/材料費・人件費以外の経費の増加/請負価格の低下・上昇難/熟練技術者の確保難/民間需要の停滞	18%
3位	新規参入業者の増加/官公需要の停滞/その他	9%

[卸売業]

1位	仕入単価の上昇/需要の停滞	40%
2位	人件費の増加	30%
3位	人件費以外の経費の増加	20%

[小売業]

1位	消費者ニーズの変化への対応/仕入単価の上昇	32%
2位	従業員の確保難	23%
3位	大型店・中型店の進出による競争の激化	14%

[サービス業]

1位	材料等仕入単価の上昇	56%
2位	人件費の増加	33%
3位	従業員の確保難	28%

【調査】中小企業振興部 【報告書作成】企画広報部